



伊仙町立面縄中学校
生徒が光り 学校が輝く 面縄中
令和6年11月25日

子どもにかけ言葉が、子どもの成長や未来に大きな影響を与える

校長 福永 隆幸

「大山のぶ代さん」と聞いて、誰だと思ふ保護者はいないだろう。そう、誰もが知っているドラえもんの声優である。私が小学5年生のときだから、昭和54年にKTS（テレビ朝日系列）でアニメの放送が始まったと記憶している。それまでは、〇〇コミックや小学〇年生等の月刊誌、単行本で読んでいただけだったので、毎週の放送をとて楽しみにしていたのを覚えている。おなじみの「タケコプター」や「タイム風呂敷」、「どこでもドア」、「スモールライト」等のドラえもんが、のび太のためにポケットから出してくれる道具は有名だろう。さすがに中学生にもなると、アニメ放送の視聴から遠ざかることになるが、それでも自分の記憶に残るアニメの一つといっても過言ではない。

さて、「大山のぶ代さん」が、9月29日に90歳で亡くなっていたことが報じられた。最近、認知症の症状もあり、テレビでは全く見なくなっていたので、気にはなっていたのだが、だれもがこの世に生を受けた以上、死を避けることはできないし、与えられた命をどう生きるかが大事である。私にとっては、ドラえもんの声といたら、あの声の特徴的な「大山のぶ代さん」なのだが、小・中学生の頃は、あの声に悩んだ時期があったそうだ。10月20日付の南日本新聞の南風録によると、中学生になると毎日のように男子生徒にからかわれた。英語の授業で「アイアム、ア、ガール」と声に出すと「ボーイみたい」と笑われた。次第に無口になって学校へ行くのもつらくなり、もの静かになってしまった娘に対して、大山さんの母親は、むしろどんどんその声を出したらどうかと助言したそうである。放送部に入部して放送劇を始めると、個性的なあの声が演劇部の目に留まりスカウトされる。そして、俳優、声優への道を歩み始めたそうだ。大山さんには、そんな過去があったのか、ドラえもんというキャラクターにぴったりとしか思えなかったあの声は、実は大山さんにとって悩みの種でしかなかったという事実。しかし、母親の一言によって、明るさを取り戻し、自分らしさを発揮したところ、思いがけず放送部で大活躍し、スカウトされる。コンプレックスでしかなかったあの声が、最大の武器に変わってしまう。娘にやる気と勇気を与えた母親の姿勢に、いつの時代であっても通じることだと感じている。

ところで、私が中学生の時、三者面談で母親が「この子は、社会科しかできないのですけど、どうしたものでしょうか。」と担任の先生に話したことがある。その時に担任の先生が母親に返した言葉が今でも忘れられない。「平均的こどの教科もできることは大事ですが、1つでも得意で自信を持っている教科があることはいいことですよ。」と言われた。私の母親も謙遜して言ったのだと思いたいが、担任の先生の言葉に救われたし、何だか先生に認められたようで、最高にうれしかった。それから、他の教科も頑張ろうと思って志望校合格のために努力したことを記憶している。親や教師が子どもにかけ言葉は、このように大きな影響を与えると改めて感じる。私は二人の男の子を育てたが、親として我が子の心に届く言葉を残せたか、自信はない。今度会ったら聞いてみたいものである。



新生徒会役員の紹介

10月18日(金)に行われた生徒会役員改選選挙の結果を受け、新生徒会役員が決定しました。10月30日(水)には、生徒会引継式があり、正式に新生徒会が誕生しました。公約の実現と、面縄中学校の更なる発展に期待が膨らみます。

【執行部】

生徒会長 元山 美弥
副会長 義山 駿・幸山 真姫奈

【専門部】

学習部長 嶋田 りあな 副部長 中原 芽唯
文化部長 元岡 凜 副部長 中原 瑠唯
生活部長 元岡 梨々愛 副部長 友良 優月
保体部長 澤田 善 副部長 中富 汐奈

～持久走大会～

11月12日(火)、持久走大会を実施しました。今年度の持久走大会は、東面縄集落のみなさんに御協力いただき、面縄中学校をスタートして、東面縄集落内の道路を一周するコースで実施しました。生徒は、男子4.5周(約3.5km)女子2.5周(約2.2km)のコースを走りましたが、沿道では、保護者や集落の方が大きな声援を送ってくださいました。交通誘導員として、大会運営に御協力いただいた保護者の皆様、御協力ありがとうございました。



～芸術鑑賞会～

11月15日(金)、芸術鑑賞会を実施しました。人形劇団クラルテによる「推し、燃ゆ」と題した人形劇でした。原作は、宇佐見りんさんの同名の小説で、第164回芥川賞受賞作品です。生徒にとって、本物の劇に触れる、貴重な機会となりました。保護者の方や地域の方にも鑑賞していただきました。



文化発表会

「十人十色～力を合わせて全力で！！～」のスローガンのもと、多くの保護者、地域の方を前に、弁論、英語スピーチ、合唱、舞台発表等、どの学年も工夫して、力を合わせて取り組むことができました。校内には、各教科で取り組んだ作品等を展示し、県民週間をとおして、多くの方に見学していただきました。



【1年生発表】



【2年生展示作品】



【3年生発表】



【ティダ展示作品】

おめでとう!!

【徳之島中体連新人戦】

〈女子ソフトテニス部〉

個人 優勝 赤松 愛美瑠・吉元 仁那
3位 伊藤 瑠唯羽・元山 美弥

団体 優勝

〈野球部〉 優勝

〈男子バレーボール部〉 3位

〈女子バレーボール部〉 3位

〈剣道〉 個人 優勝 久保 開誠



【12月の主な行事予定】

3日(火) SOSの出し方教室

5日(木) 県立埋蔵文化財センター出前授業

6日(金) SC来校

8日(日) PTA親子奉仕作業

11日(水) 第57回徳之島地区学校保健研究大会

13日(金) 1・2年学級PTA

14日(土) 土曜授業

20日(金) 読み聞かせ(1・3年)

オンライン英会話

24日(火) 終業式

26日(木) 県いじめ問題子どもサミット